

# (白山) 小石川植物園南西側フェンス設置工事

## ■工事概要

東京大学大学院理学系研究科附属植物園（通称：小石川植物園）は平成24年に国の名勝及び史跡「小石川植物園（御薬園跡及び養生所跡）」に指定された。本工事において「文京区都市マスタープラン」に基づき植物園の塀及び塀付近の歩道整備が実施された。

平成23年度に文京区発注工事により東側（御殿坂）の整備が行われ、平成26年度から平成30年度にかけて南西側の塀改修及び歩道整備工事が文京区と協働で行われた。

## ■工事期間

### 【文京区工事】

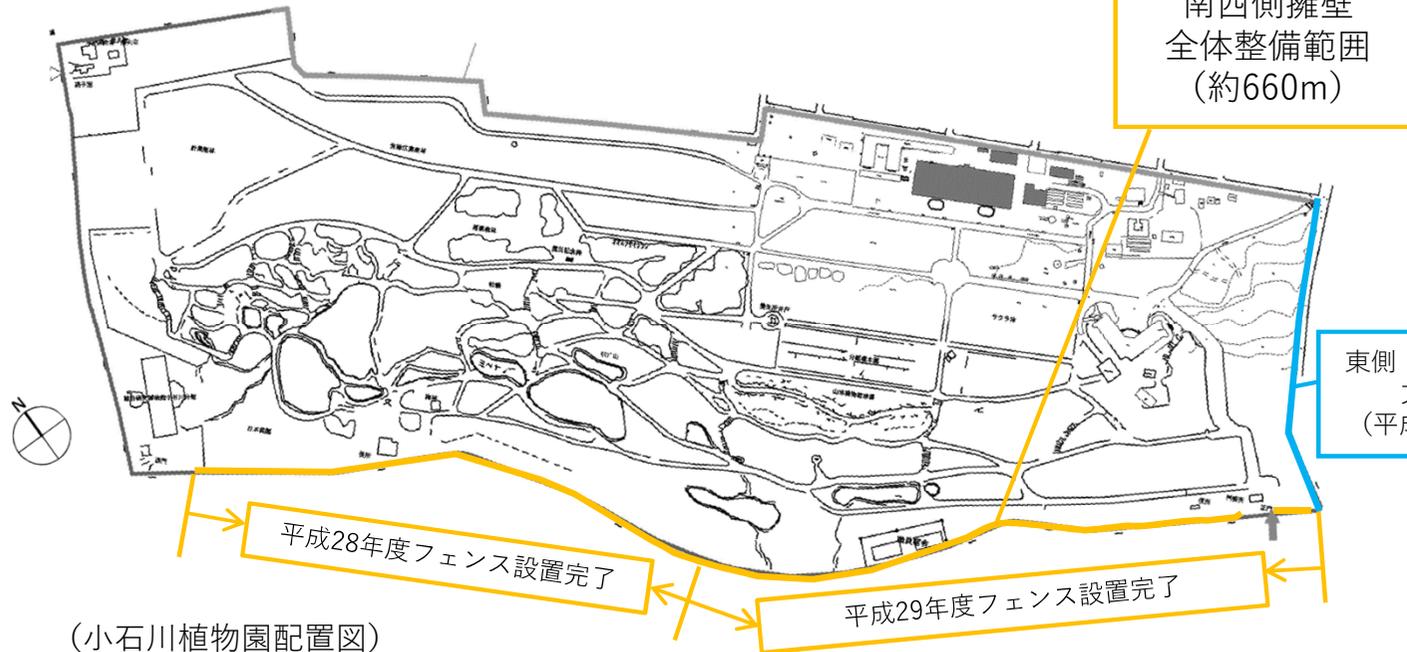
平成26年度～平成28年度：南西側擁壁下部の設置工事  
平成28年度～平成30年度：南西側道路拡幅部分の歩道整備工事

### 【東京大学工事】

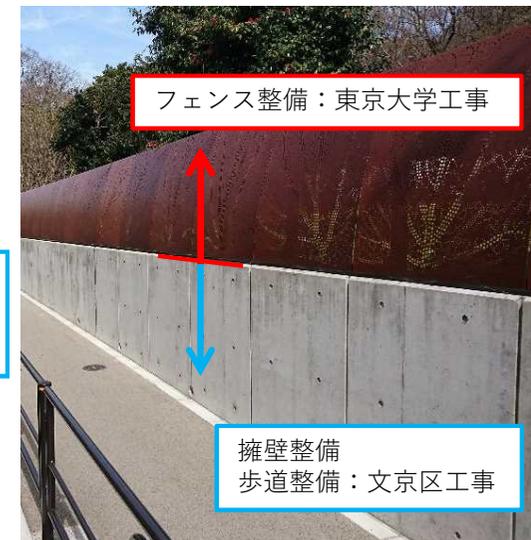
平成27年度～平成29年度：南西側擁壁上部のデザインフェンス設置工事



↑南西側フェンス（歩道側より）



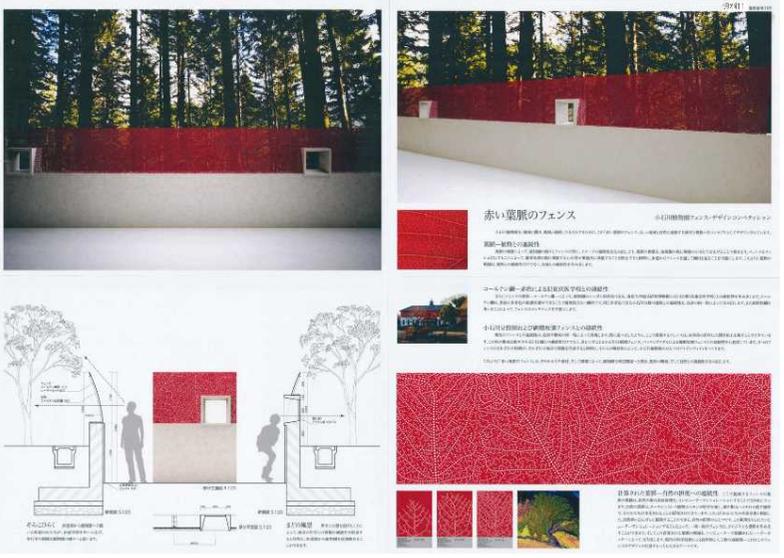
(小石川植物園配置図)



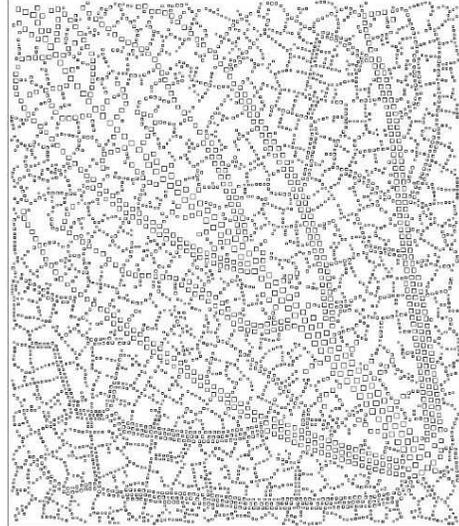
↑南西側擁壁 工事区分

■ フェンスのデザインについて

東京大学で整備を行ったフェンス部分は「地域に開かれた植物園のフェンス」を目指し、デザイン・コンペティションにより計画された。植物園の内部環境を維持しつつ、周辺環境と調和した開放感があるフェンスのデザインを、応募資格不問のコンペティションの実施により広く募集した。国内外より約150点の応募があり、最優秀賞に選ばれたのは美濃部 幸郎（ミノベ ユキオ）氏の提案であった。このデザインを基に、東京大学キャンパス計画室（清家 剛）・同施設部・美濃部 幸郎氏の監修で実施設計が行われた。



↑ 最優秀賞の美濃部氏の提案

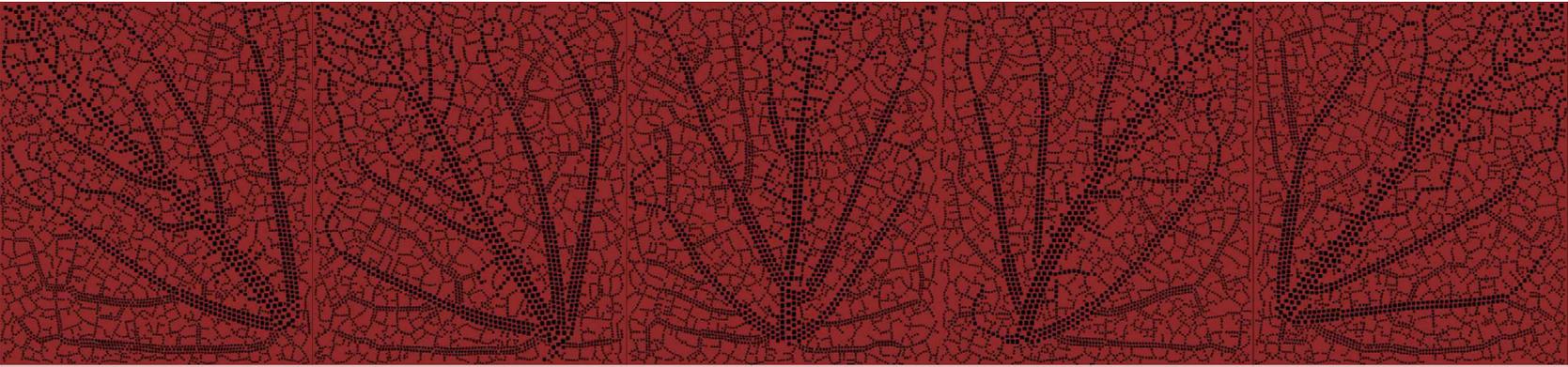


↑ パンチング基本イメージ



↑ 南西側フェンス（植物園側より）

美濃部氏の提案は、葉脈状のパンチングによるフェンスデザインであり「江戸小紋」を想起させるデザインが審査員に評価された。葉脈をイメージしたパネルが群れをつくり、風にたなびく様なイメージで配列されている。



← 葉脈状のパンチングパターン例